全日病発 第57号
2025年5月15日

全日本病院協会　会員病院
各 位

公益社団法人　全日本病院協会
会　長　猪口　雄二
医療の質向上委員会
委員長　今村　康宏

「ＤＰＣ分析事業 MEDI-ARROWS Ⅲrd」
無料テストユース募集のご案内
～2025年4月リリース新機能のご案内～

平素は当協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、MEDI-ARROWS Ⅲrdにリニューアルした直後から参加病院の意見・要望を取り入れる事で、更に使い勝手も向上しております。

今回、以下の新機能を追加したのでご案内いたします。

【2025年4月リリース新機能】

●病院経営課題を簡単に把握できる機能を追加しました。

収入、在院日数、手術、予定／救急入院、紹介／逆紹介など、病院経営の運営状況を把握する上で必要な各種指標を一覧表示します。（画面イメージはP.2～3参照）

会員病院の皆様方には是非、**無料テストユースを**この機会にご体験ください。（申込から使用開始まで約2週間、お試し期間は2か月）。

＜MEDI-ARROWS Ⅲrdテストユース申込方法＞

参加を希望される場合は全日本病院協会HPの
「ＤＰＣ分析事業」のページよりお申込みください。
https://www.ajha.or.jp/hms/dpc/index.html

ＤＰＣ分析事業

（お申込・お問い合わせ先）
公益社団法人　全日本病院協会事務局　ＤＰＣ分析事業担当
〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町1-4-17　東洋ビル 11Ｆ
TEL 03-5283-7441　FAX 03-5283-7444　E-mail dpc@ajha.or.jp

2025 年 4 月リリース新機能の概要

※表示されている画面は新機能の一部です(2025 年 4 月時点)。
詳細は当協会 HP「https://www.ajha.or.jp/hms/dpc/index.html」参照。

【カテゴリ別 病院基本指標】

病院課題の要因を掘り下げ、詳細な原因を明らかにする事が出来ます。

(例)・コスト削減を図る際の、投薬、注射のコストが高い診療科やＤＰＣ(疾患)を洗い出す。
・地域医療連携の強化を図る際の、各診療科の紹介・逆紹介の状況を把握する。

行為明細	診療科コード	診療科名称	症例数 退院症例数	収入関連 入院収入	平均単価	包括請求金額	10:診察	20:投薬	30:注射
参照	070	循環器科	120人	69,116,368円	33,881円	69,116,368円	894,040円	930,740円	0円
参照	120	整形外科	2人	492,011円	61,501円	492,011円	9,400円	0円	0円
参照			12人						
参照			506人						40円
参照	170	心臓血管外科	18人	26,371,676円	56,350円	26,371,676円	145,040円	127,380円	0円
参照	240	耳鼻咽喉科	42人	24,105,465円	40,857円	24,105,465円	424,140円	171,500円	2,622,440円
参照	270	放射線科	6人	1,105,657円	78,975円	1,105,657円	36,640円	0円	2,320円
参照	280	神経内科	22人	13,023,740円	34,094円	13,023,740円	18,140円	275,300円	10,200円
参照	330	婦人科	10人	5,549,859円	99,105円	5,549,859円	55,800円	2,880円	0円

※ご案内のページ幅の都合上、画面の画像右側を切り取っています。

●投薬、注射のコストが高い診療科

10:診察	20:投薬	30:注射	40:処置
168,550円	4,782,110円	12,782,130円	2,206,760
0円	108,880円	892,880円	54,620円
5,000円	738,300円	6,781,690円	1,595,940
0円			0円
0円			160
0円	242,270円	583,710円	15,120円

●紹介件数が減少している診療科

他院からの紹介件数	他院からの紹介割合	自院外来からの入
2件	1.5%	-1件
1件	0.7%	0件
-12件	-2.7%	-16件
2件		
-3件		

（ご参考）MEDI-ARROWSⅢrd の既存機能よりピックアップした分析画面ついてご紹介します。

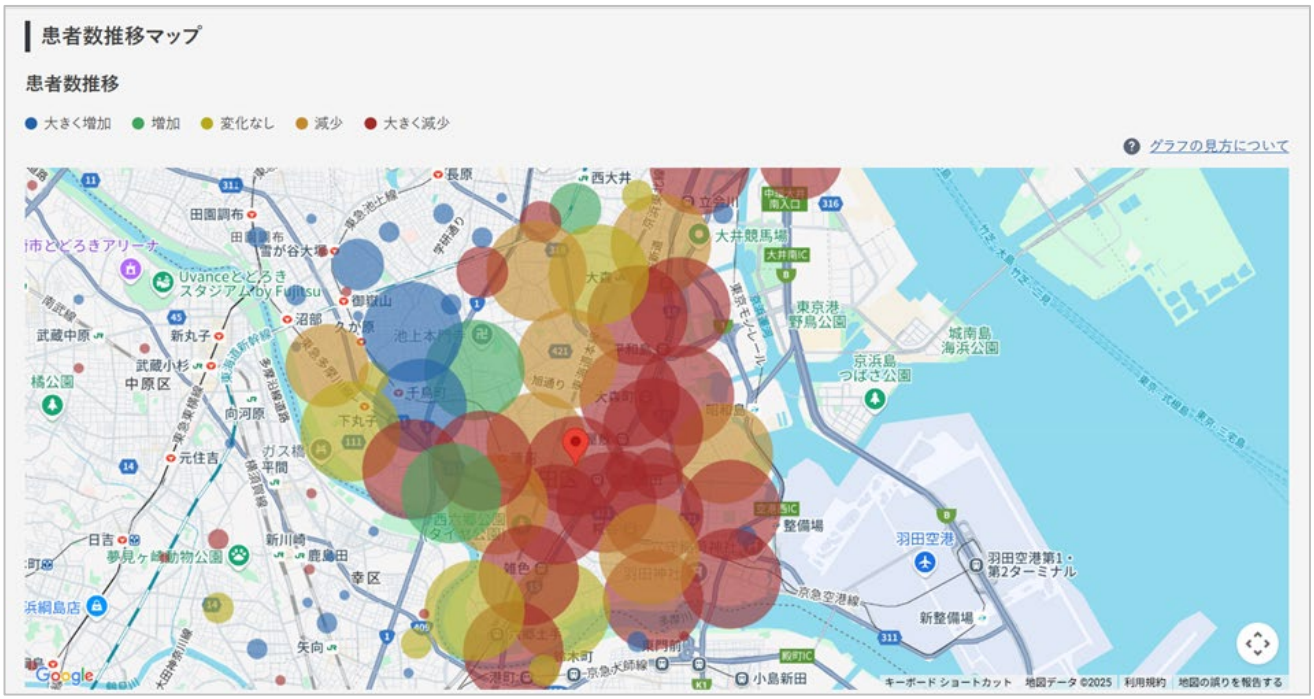
【経営指標ロジックツリー】

病院収入において課題は何かが判りやすく色で表現しています。

【患者マーケティング】

来院患者の変化を毎月モニタリングできます。

また、周辺地域の診療所・クリニックからの紹介状況を把握できます。



全日病ＤＰＣ分析システム（MEDI-ARROWS Ⅲrd）について

１．導入・使用料（税別）・サービス一覧

利用開始月から３月末日までの年間利用となります。利用開始翌年度からは、年度更新となります（年度途中の参加の場合、初年度は参加月から年度末までの月割となります）。

病床数 （総病床数）	フルパッケージ版		Lite版	
	初期費用	利用料（年）	初期費用	利用料（年）
0 ～ 200	※ 価格については全日病事務局へお問い合わせください。			
201 ～ 300				
301 ～ 400				
401 ～ 500				
501 ～				

機能範囲	定型機能、自由分析機能	定型機能
標準ライセンス	・定型機能：20ライセンス（上限） ・自由分析機能：3ライセンス（閲覧権限）	・定型機能：20ライセンス（上限）
（追加ライセンス）	・自由分析機能（1追加）：①閲覧権限、②作成権限 ※ 価格については全日病事務局へお問い合わせください。	－
標準データ量	・過去4年分+当該年度	
特記事項	・Lite版からフルパッケージ版に移行する場合、病床数に応じた初期費用並びに利用料が発生します。 ・操作説明会は初期費用内に含まれます。（開催方式：集合研修 or Web、開催時期：10月中～下旬）	

２．新たなサーバー機器の設置が不要

MEDI-ARROWS Ⅲrd クラウド環境を利用し、サービス提供をしております。病院内に新たにサーバー機器を設置する必要はありません。既にインターネット回線をお持ちであれば、新たに回線を用意する必要もありません。

３．新たなデータの用意が不要

厚生労働省へ提出されているＤＰＣ調査データのみ使用するため、新たにデータを用意する必要はありません。

４．診療情報分析

経営指標（収入、症例数、紹介率、看護必要度基準）や、臨床指標（平均在院日数、手術実績、ジェネリック使用率）など、よく使われる指標の分析画面を装備しております。見たい箇所をクリックし、簡単な操作で分析ができます。

５．自由分析（※フルパッケージ版のみ）

MEDI-ARROWS Ⅲrd は、他院事例や各種指標を自由にダウンロードして二次利用を可能にしています。また、分析代行サービスの提供も行っているため、分析時間が十分に確保できない、分析に不慣れな方へも十分なフォロー体制を整えております。

＜全日病ＤＰＣ分析システム（MEDI-ARROWS Ⅲrd）の主な特徴＞

１．誰でも経営課題をパッと把握
経営指標ロジックツリーで経営状況を可視化。ベンチマークで課題を一目で把握可能です。

２．改善効果をパッとシミュレーション
ベンチマークを基準にカンタンに目標設定。各指標への影響も考慮し改善効果を予測します。

３．病院独自のレポートをパッと作成
必要なデータ、グラフ形式をクリックするだけで、カンタンに病院独自のレポートを作成する事が出来ます。

経営情報分析システム

MEDI-ARROWS Ⅲrd

メディアローズ サード

NEW

分析未経験者でも
経営分析のスペシャリストへ導く

誰でも　簡単に　高度な経営分析

1．MEDI-ARROWS Ⅲrdは進化しています！

～診療報酬改定、制度改正、ユーザーの要望に対応～

※年4回アップデート予定、以下はリリースした機能の一例です。

●病院経営課題を簡単に把握できる機能を追加！（2025年4月リリース）

【カテゴリ別 病院基本指標】

病院課題の要因を掘り下げ、詳細な原因を明らかにする事が出来ます。

（例）・コスト削減を図る際の、投薬、注射のコストが高い診療科やＤＰＣ(疾患)を洗い出す。

・地域医療連携の強化を図る際の、各診療科の紹介・逆紹介の状況を把握する。

（例）　投薬、注射のコストが高い診療科や
ＤＰＣ(疾患)を洗い出せます。

2．2025年度のユーザー会開催予定

病院でMEDI-ARROWS Ⅲrdを使用しているユーザーが多数参加しているので、他院の活用方法を知ることができます。また、MEDI-ARROWS Ⅲrdの開発スタッフも参加しているので機能の使い方、追加して欲しい機能について直接、質問・要望が可能です。

【2025年度 開催予定（開催時期、テーマは現時点の案で今後変更する可能性がございます）】

5月30日(金)：はじめて講座（初級編）　　６月27日(金)：はじめて講座（分析活用編～その１～）

9月：はじめて講座（分析活用編～その２～）　　11月：病院による活用事例発表会

3月：診療報酬改定セミナー（影響シミュレーションツールの説明）

ニッセイ情報テクノロジー株式会社
NISSAY IT